



<http://www.kenchikunet.org> E-mail:kenchiku@d2.dion.ne.jp

歳をとることは罪なのか ✓

「終の棲家はどこに 老人漂流社会の現実」 =誰もが望むところに住めるまちを=

NHKディレクターを講師に講演会を開催

住まい・福祉・まちづくりネットワーク主催（建築ネットワークセンターなども加盟）の「終の棲家はどこに・老人漂流社会の現実」と題した講演会が、NHK報道局ディレクター・熊谷光史氏を講師に4月26日新宿区大久保地域センターで65人が参加し開かれました。

2013年1月にNHKスペシャル番組で放映された同テーマの番組は大きな反響がありました。「他人事ではない、老人漂流社会の現実」を、リアルな話を聞きたいと関心を集めました。

講演は、独居高齢者が暮らす新宿区大久保のアパート火災のニュース映像から、亡くなつた人の引き取り手のない遺骨が、お寺に預けられたままの映像と語りから始まりました。続いて、病気になり退院後自立した生活が困難になり、介護施設を移り変わり、漂流する高齢者、さらに過酷なのは帰宅できない認知症高齢者を探す人がなく路上生活に陥る人、高齢者の賃貸住宅の入居条件が厳しく、やむなく「違法ハウス」に入居し健康を害する人など、高齢者にとって、暮らし、健康、介護の問題が大きな社会問題になっています。夫婦でも片方が亡くなり、子どもがいても子ども自身の生活が大変であれば頼ることはできません。誰でも独居高齢者



熱心に聴き入る参加者。円内は熊谷氏

者になる可能性があります。

講演会の参加者からは「戦後の経済復興に貢献し、高齢になった方たちの人権を守れない事に腹が立ってきました」「沢山の問題がある現実社会を再認識しました。病気になった時、認知症になった時、まったく展望が持てない事に恐ろしくなりました」「居住福祉の考えを政治の中にしっかり位置付けることが大事」などの声が寄せられ、会場からの質問にも答えた熊谷氏は、「誰とどこで暮らしたいか、一人一人が決められる世の中、社会にしたい」と結びました。

No.39

**特定非営利活動法人 (NPO法人)
建築ネットワークセンター**
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3
渡辺ビル505
TEL 03-5386-0608 FAX 03-5386-1065

マンション敷地売却制度の導入の問題点

～耐震不足を理由に、5分の4の賛成で
マンションを売却できてよいのか～

- ④この制度の本質が、国民の財産権を所有者の意思に反して奪うものである以上、その目的、必要性、内容、制限の程度等について慎重に検討されるべきです。

樋木武光(副理事長)

無料相談会のご案内

準備のため、いずれも事前に連絡をお願いします。

◆住まいと建築なんでも相談

毎週月曜日午後1:00~4:00

その内容に合った専門家、一級建築士が対応します。

◆マンション何でも相談会

第4十曜日午後

弁護士、マンション管理士、建築士等専門家が複数で対応します。

◆住宅リフォーム相談会

リフォーム、新築など建築、設備、内装の専門家、健康住宅アドバイザー、ハウスメンテナーなどが対応します。
是非ご連絡ください。

